

入曽地区中学校統廃合検討協議会 学区部会第2回会議録

- ・開催日時 平成24年7月25日（水） 午後7時～午後9時15分
- ・開催場所 入曽公民館 3階ホール
- ・出席者 17名 ※欠席者3名
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主任
学校教育部参事兼教育指導課長
- ・傍聴者 20名

【会議内容】

1 開 会

2 部会長あいさつ

アンケートの結果を読ませていただいたり、今までの会議を振り返ったりして見て、こういう視点が欠けているかなと思うところがありましたので、議事に入る前に少しお話をさせていただければと思います。

統廃合の話を子ども達に知らせるのは我々大人なのだから、なぜ統廃合するのかという根拠を皆でしっかり共有しようといった趣旨のことを仰っていた委員さんが以前おりましたが、私は議長として会議に臨むにあたり、二つの視点を基本に進めてまいりました。一つは、より良い教育環境にすることです。やはり、入間中の教育環境については、長年の課題であったことは事実です。教室や校庭が狭いということに加えて、校舎が老朽化しているという現状もあります。もう一つは、予算の面です。狭山市の行政は我々の血税で成り立っています。やはり市民としては、予算は効果的に無駄のない形で執行してほしいという思いはあるはずです。以前のように高齢の方が無料でお医者さんにかかれるような時代ではありませんし、消費税も上がるということで、これからは無駄なことは一切許されない時代です。そして、未来を担う子ども達にも、こういう状況にあるということを理解してもらうとともに、乗り越えてもらう必要があると思っています。統廃合についても、対象校の児童生徒だけが興味関心を示すということではなくて、みんなで思いを共有することが大事だと思いますし、確かに学校が変わるのは大変ですが、よく頑張ったね、ありがとうって感謝を示せるような環境を整えていかなければならないと思っています。

3 議 事

(1) 統廃合に伴う学区の見直しについて

(議 長) 前回の会議で、入間中の廃校を白紙に戻せないのかという質問がありました。そのことについて事務局から回答をお願いします。

(事務局) 入曽地区中学校の統廃合対象校を入間中学校とした検討協議会の決定を撤回することはできないかという質問について回答をいたします。

このことについては、検討協議会の正副会長とも協議した結果、検討協議会において入間中学校を統廃合の対象校と決定したことにつきましては、地域の代表として選出された自治会長をはじめとする識者、また、保護者の代表として関係する中学校のPTAの正副会長、学校関係者の代表など、20名の委員で構成された公的に設置された検討協議会組織で、1年以上に渡って真剣に検討した結果として得られた結論でありますので、検討協議会の決定は、見直す必要はないものとさせていただきます。

さらに、この決定は、狭山市教育委員会において決定した「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」を踏まえて、検討を重ねた結果であります。また、この基本方針は、教育的視点から、集団教育、教科学習指導、部活動、学校施設など、魅力ある教育環境づくりのために、小・中学校の規模と配置の適正化を検討したもので、具体的には、入曽地区の中学校については、3校を2校に統廃合する必要があるという基本方針であります。

なお、今回の検討協議会の決定は、委員の皆様方が、現状だけを微視的に見たのではなく、10年20年先を展望して高所から巨視的に見て考えて得られた結論であることを申し添えます。

事務局からの回答は以上です。

(委 員) 20年先を見越してとありましたが、入間小の時に、二度も統廃合は経験させませんとの説明が教育委員会からあったと聞いています。20年、30年先を見越していたのであれば、こんな間近に入間中を廃校にすることはないですね。

(事務局) 入間小のときも、今回につきましても、将来のことを見据えて検討

しているということに変わりはありません。

(委員) 20名の委員という話もありましたが、意見を吸い上げてきていない人たちの意見で決めてしまっているのですか。私たちは漸くここで意見を言える場を得られたわけです。とにかく今までは入間中では意見が全然吸い上げられていませんでしたから…。

(議長) 5人の教育委員さんは、市議会の承認を得たうえでなられている人たちです。つまり、皆さんの代表者が選んだ教育委員ということです。統廃合の基本方針も、その教育委員の了解を得たものであり、皆さんの代表である議会にも報告されています。そういった状況の中で、教育委員会の事務局としては統廃合を進めていかなければなりませんので、その方法として検討協議会が設置され、その委員として私たちが委嘱され、そういった責務をもって臨んできたということです。

直接民主制ではありませんので、代表者を介して行われているわけですが、皆さんの意見がまったく無視されているということではないですよ。そういったことは是非ご理解いただきたいと思っています。

(委員) ちゃんと意見を吸い上げていただいていたのなら、この場で、こんなことを言わなくてすんでいますよ。

(議長) でも、賛成の意見も反対の意見もある中で、全員の意見を吸い上げることなんてできますか。ある意味、代表に任せざるを得ない面もあるとは思いますが…。

(委員) でも、教育委員会の方は吸い上げてきてくださいって言いましたよ。

(議長) そういった意識をあらためて持ちましょうっていうことですよ。

(委員) 決まったことは撤回できないけど、これからは吸い上げていきましょうっていうことですか。

(議長) これからは学区を決めることになりますので、もっと意見を吸い上げていく必要があるかと思っています。校外委員さんなどに聴かないと分からないこともあると思いますし…。

(委員) どっちが大事なのですか？学区のことよりも、廃校にする学校を決めることの方が大事ではないですか。

(議長) この場はあくまでも学区を検討する場ですから、本来の議題に入らせていただきたいと思いますと思うのですが、如何でしょうか…。

(委員) 昨年度の検討協議会に、入間中の PTA の会長・副会長、校長先生が出席していたのであれば、情報を下ろすなり意見を吸い上げるなりというのは、その PTA の内部の問題だと思いますので、そのことを、この場で訴えるのはどうなのかなと正直思います。

(議長) それでは本題に入らせていただきたいと思います。統廃合に伴う学区の見直し案について、事務局からあらためて説明をお願いします。

(事務局) ——— 資料説明 (略) ———

(議長) 他にもこういった案がありますといったことでもかまいませんので、何か意見はありますか。

(委員) こういった案があったら如何でしょうかではなくて、委員の皆さんは、自分の母体に出向いて意見を集約してこられたわけですね。だったら、集約してきた意見を皆さんに仰ってもらえばいいのではないですか。

(議長) それでは、意見を集約してきたところがありますか。

(委員) うちの自治会では未だです。1 か月程度の期間ではできません。

(議長) 入間中はどうですか。

(委員) 入間中では集約してきた意見を文書でまとめてきましたので、今から配らせていただきたいと思います。

(資料を委員全員に配付)

(議長) 資料を拝見しますと、統廃合に反対といった意見もあるようですが、ここでの報告は、あくまでも学区に関することのみでお願いします。

(委員) 入間中の PTA では、運営委員会だよりとともに、6月に行われた教育委員会による保護者説明会の報告の資料を出しました。ただ、意見の集約にあたっては、子どもの手を通してはいけない、アンケートをしてはいけないなどの御触れが出るなど、いろいろと問題がありまして、最終的にはメールで意見を集めるということになりました。

学区の見直し案に関しては、教育委員会から提示された四つの案以外にも意見が寄せられましたので紹介します。

保護者説明会では三つの案が出ました。

その1。入間小の廃校を経験した児童が中学を卒業する平成30年までは統廃合を行わず3校を維持し、将来的に他の中学校も古くなるので、入曽地区中心部に新しく1校を建てる。

その2。入間野中は教室数が少なくても全員行けるとのことなので、南小学区の児童は全員、自由に中学校を選択できるようにする。

その3。入間小の統廃合を経験した児童だけでも自由選択制にする。メールで寄せられた意見では八つの案が出ました。

その1。3校廃校1校新設。入曽地区3校を廃校にし、新たな中学校を入曽地区の中心に造る。入間小跡地に造る。子育てに優しい街、教育に熱心な街ということで、子育て世代家庭の転入が見込める。

その2。入間野中と入間中の2校を廃校し、新生1校と山王中とする。入間中の生徒は全員入間野中に行くが、入間小だった生徒については自由選択制にする。新生中学校は、先生、校歌、校章、制服、体操着等新たな中学校として生徒が同じ条件でスタートする。

その3。山王中と入間中の2校を廃校し、新生1校と入間野中とする。入間中の生徒は全員山王中に行くが、入間小だった生徒については自由選択制にする。新生中学校は、先生、校歌、校章、制服、体操着等新たな中学校として生徒が同じ条件でスタートする。

その4。3校そのまま。入間中に耐震工事と冷暖房工事を施し、8クラス以下しかクラス編成ができなくなる時に備えて統廃合をじっくりと考える。その際は基本方針の新たな策定、情報の周知徹底、住民の意見収集、タウンミーティング、説明会等を行う。検討協議会の委員については、教育委員会で選定するという従来の形はとらない。時間をかけて、地域住民、学校関係者、卒業生、生徒、保護者の納得と合意ができたことを確認してから統廃合を決定する。

その5。3校を廃校にする。2校の新生中学校としてスタートする。入間中の生徒が入間野中と山王中にわかれる。

その6。3校全部自由選択制にする。

その7。入間中の生徒と南小の児童は自由選択制にする。

その8。段階を経て最終的に1校の新設校にする。入間中と入間野中を廃校にし、入間野中の校舎に2校を統合し、学校名は入曽中とする。その間、入間中の跡地に新設校を建設する。3年後、入曽中と山王中を廃校にし、入間中跡地に建てた新設校舎に2校を統合、学校名は入曽中とする。

以上です。

(議長) 校舎新設の要望は検討協議会でも出ましたが、厳しい財政状況もあり、難しいということになりました。

なくなってしまう学校に、なんで耐震補強工事や冷暖房工事をするのかといった市民の声もあろうかと思います。

(委員) でも、先日の入間中の保護者説明会で、入曽地区の真ん中にある入間中に3校の生徒が全員通えるくらいの大きな学校を新たに建ててほしいという要望を言ったら、あらためて部会で提案しますって教育委員会の方は答えてくれましたよ。

(事務局) そういったご意見が保護者からありましたということ、部会の委員の皆様にお伝えしますという意味で、そのようにお答えさせていただきました。

(委員) でも、提案しますって話でしたよね。ダメだったら、お金がないからできませんって、その時に答えているはずじゃないですか。

(委員) あなた方は、前のPTA会長さんが持っていた検討協議会の議事録をお持ちですよ？ご覧になられましたか？

(委員) はい。

(委員) ご覧になって、この結論ですか…。

あなた方は個人で来ているわけじゃないですよ。入間中のPTAの代表として来ているわけですから、前の方から引き継ぎは受けているわけですよ。検討協議会でも建替えといった話は出ましたが、いろいろと検討はしましたし、そういった経緯は議事録を読めばわかると思

うのですが…。

(委員) それだったら、そういうふうに教育委員会の方は保護者に説明すればいいじゃないですか。でも、そうではなく提案しますって言うから、私たちだって期待しますよ。

(委員) それは、そういう意見があったということを報告しますっていう意味でしょ？

(事務局) はい。

(委員) この部会は、統廃合するかしないかを議論する場ではなく、次の段階の学区をどうするかを決める場ですよ。PTAも役員さんは大体毎年変わるわけですよ。私は昨年度のことは知らないといったような言い方をされると、何のための会議だか分からなくなるわけです。納得できないのであったとしても、この部会ではなく検討協議会の方でやられたら如何ですか…。そうしてもらわないと、この会議は進みませんよ。

(委員) ただ、検討協議会で決まったことは、入間中学校を廃校の対象にしたということだけで、他の学校を廃校にしないとは言っていないですよ。

(委員) それは言葉の綾ですよ。3校のうち2校を残して1校は廃校にするという前提で協議をしてきたわけで、申し訳ないですけど、その1校が入間中学校さんと決まったわけです。新築や耐震工事の話も出ましたけど、市の方からは財政状況についての説明もありましたが、最終的にはこういった形で決まったということです。

前にも言いましたけど、無駄なことはやってはいけないと言いながら、みんな自分のこととなれば、無駄だとは思わないわけですよ。

(委員) 私、なんか変なこと言いましたか？私はただ、こういう学区の案が入間中から出ましたと説明しただけですけど…。なんか引っかかることがありますか？

(議長) 今回提示された四つの学区の見直し案を軸に、いろいろなご意見を

いただきたいとお願いしたつもりなのですが…。

(委員) えっ、違いますよ。だって、新しい案を出して下さいって前回おっしゃったじゃないですか。

(議長) それは僕の言い方が悪くて申し訳ありません。入間中さんの要望の中には、入間野中や山王中も廃校にして新たに校舎を造ってみたい案もあったと思うのですが、そういうことではなくて、あくまでも学区をどうするかということについて意見をいただきたいということです。

(委員) 入間中を廃校にしましょうと決めただけで、入間野中や山王中は廃校にしませんとまでは検討協議会では決めてないはずですけど…。

(委員) 前回、今回と話を聞かせていただき、非常に混乱しているのですが、私は、あくまでも学区のことで協議をするということで委嘱を受けているものと認識しております。入間中さんのお気持ちは分かりますが、他の学校の統合廃校も学区の一部みたいに言われても、昨年度の検討協議会に参加していない限り、統合廃校に関しては意見を述べる立場にはないと思います。皆さん意見を集約してきているはずですからと言われましたが、こんな混乱した状況ではどうしていいか分かりませんので、私たちのPTAでは現時点で意見の集約は行っておりません。

(委員) このままじゃ、何回会議やっても一緒ですよ…。

(議長) 入間中さんにつきましては、こういった他の委員の皆さんのお考えをご理解いただいてですね、入間中の廃校という合意事項も白紙には戻せないということですから、次のステップとなる学区の見直し案についてご検討いただければと思うのですが…。

私自身、入間中で校長をやっていたから、そりゃ切ないですし、なくしたくはないですよ。ただ、教育環境などいろいろな観点から検討した結果として、こういう結論が出たわけですから…。

(委員) そういう学区を検討する場であることは勿論わかっています。ただ、痛みを分かち合ってもらいたいという気持ちもありますし、狭山台小なども、北小と南小の両校を廃校にして新しい学校にしましょうとい

うことで1校にしたはずですよ。検討協議会でそういう意見が出なかったからしょうがないのかもしれませんが、山王中も入間野中も廃校にして新しい中学校でスタートするということになれば、まだ少し気持ちも動くというか…。新築ではなく既存の校舎で進めるというのも、財政事情もありますので仕方ないとは思いますが、入間中から行った生徒を、ただの転入生みたいな形で受け入れてもらいたくないし、狭山台小みたいに両方廃校にして再スタートみたいな感じにしてほしいわけです。都内では、両方廃校にして新たに校舎を建てるといった統廃合のやり方が一般的だと思うのですが、狭山市は「お金をかけたくないから既存の校舎に入れてしまえ」ですよ。ただの転入生扱いされてしまう入間中の生徒の気持ちをもっと考えてください。

(議長) 狭山台小のような形になるかはわかりませんが、そういうのは本当に貴重なご意見だと思います。

(委員) そういう意見はいつ言えばいいのですか？

(議長) 学区や統合の時期を決めてからですが、学校の名前などについての意見は、検討協議会の中で当然出てくるのではないかと考えています。

(委員) 制服なんかは今から準備しなければ間に合わなくないですか？

(議長) 生徒の数が増えて学校が変わった昔のケースでは、経済的な負担がかからないように、制服や体育着は前の学校で指定されていたものをそのまま着ていてかまわないということにしていました。

(委員) じゃあ、吹奏楽部は違う服のまま同じ気持ちで演奏してくださいってことですか？

(議長) できますよ、高校野球だって連合チームがあるじゃないですか。学校が違ってたってできるわけですから…。

(委員) バasketボールは違うユニホームでも同じチームですよって言い張って出るってことですね。

(議長) そういうことではないですけど…。

- (委員) 子どもにしてみれば大事なことですよ。
- (委員) あの、すいません。単的に申しますけど、それは検討協議会で議論することであって、ここで議論することではないですよ。そのところをご理解いただけないでしょうか…。
- (委員) 転入生のような扱いはされたくないといった話がありましたが、そういうのは受け入れ側の学校の生徒に対して、教育委員会がちゃんと指導しなきゃいけないと思いますよ。
- (委員) 私たちは、それを南小で見ているから余計に不安なわけです。
- (委員) だから、そういうことをこれからお願いしようよ。今それを言ってもしょうがないし、時間は戻らないのだから…。
- (議長) 受け入れ側も感謝しながら受け入れるっていう姿勢は大事ですし、ただ単に、転校生が来たみたいな感じで受け入れたってことじゃないですよ…。そのあたりは是非理解してください。皆さん、うなずいてくれていますけど…。
- (委員) それは受け入れ側だからじゃないですか。私だって反対に受け入れ側の立場だったら、ウンウンってうなずいていますよ。
- (議長) そんな失礼なこと言っちゃいけないよ。
- (委員) ただ、統廃合に賛成という方でも、そういうことを理解してくれる方はいると思いますよ。
- (委員) 私たち南小は、今回の統廃合で一番影響の出る小学校です。私自身、この会議に PTA 会長としてどういう立ち位置で臨めばいいのか悩んだところがありまして、校長先生にも相談しました。そこで話したのが、やっぱり後ろに何百人もいる方々の気持ちをすべて持つていくことはできないよねっていうことでした。
- 前回の会議を受けて、全員ではないですけど、保護者の方々に学区の見直し案について意見を聴いてきたのですが、全員が入間野中に行

く③案を支持する意見が最も多かったです。その理由は、入間小の統廃合で入間野小と南小に別れ別れになった子どもたちが、入間野中で再会できるからということです。統廃合で何度も同じ悲しみを味あわせたくないといった意見もありますが、もう一度会えるという面では悲しみばかりではないのかなと思っています。また、子どもたちは被害者ですといった意見もありますが、子どもたちは被害者ではなく主役だというふうに変えて考え方をやってみました。そこで、子どもたち自身が統廃合を受け入れることを、どういう形で表現すればいいのかということを考えてみました。そういう中で、例えば、統合する年の4月に入学をする子どもたちから制服を変更するとか、そういったことを今後提案させていただければなって思っています。別々の空間を少しでも埋められるように、共有する部分を一つでも増やしてあげたいと思いますし、制服なんかは子ども達にとってちょっと嬉しくなったりするものなので、細かいことは今後話し合うにしても、そういった方向で考えていきたいなって思っています。

(委員) そういうのも痛みを分かち合う一つの方法ですね。

(委員) 確かに今回の統廃合で入間小の児童が傷ついてしまったかもしれませんが、元々南小にいた児童やその保護者からも「入間小ばかりずるいよね」などといった意見は上がっていますし、前から南小にいた児童は我慢しなさいといった指導があったという話もあります。受け入れる側の南小にも、準備の段階で痛みはありましたので、痛みを分け合えてないわけではありません。受け入れる側と行く側とでは勿論気持ちの持ち方は違いますが、受け入れる側にも痛みがあるということを感じていただきたいと思います。

(議長) それでは、最初に事務局から説明があったとおり白紙には戻せないということですから、あらためて学区の見直し案について検討を進めたいと思います。この四つの案に関して何かご意見ございますか。

(委員) 安全な通学路の確保の視点は除かれてしまうわけですか。

(議長) だから、まずは学区を決めないと通学路は決まらないですね。

(委員) 距離的には入間野中に行くにしても山王中に行くにしても変わらな

いですから、だったら安全な方を選びたいです。

(議 長) まずは学区を決めなければ、通学路は決められないですよ。

(委 員) 例えば、ヤマダ電機の辺りに住んでいる子どもたちが山王中に行ったらいいのか入間野中に行ったらいいのかは、実際に歩いてみなければ分からないですよ。

(議 長) それは当然これからやることです。

(委 員) 道路を全部歩いてみて、それで学区を判断したいということですか。

(委 員) できることなら…。歩いた結果、この子は入間野中がいいよねとか山王中がいいよねといった話になるかもしれないですし…。

(委 員) 確かに安全は大事ですからね。

(委 員) 安全は大事ですけど、生徒の数や適正規模の問題はありますよね。

(事務局) 入間小の時は、まずは学区を決め、その後に通学路を決めております。

先ほど、ここに住む子どもは入間野中で、ここに住む子どもは山王中という意見もありましたが、教育委員会としては、できれば学区が分かれぬ形が望ましいと考えています。確かに適正規模の視点から④案というのでも提示させていただきましたが、子ども達の心情的な面を考慮する必要があると思っています。

(委 員) ただ、指定された学校以外に通うことは可能ですよね。例えば、サッカー部が無いから、こっちの学校に行きたいということは認めているわけでしょう。確かに、そういうのを何でも認めちゃったら、生徒数のバランスに影響が出るとは思いますけど…。

(事務局) 学区の見直しにあたっては、ある程度柔軟に対応したいと考えていますが、まずは、基本的には提示させていただいた四つの案のうちのいずれかを選択していただければと思っています。

(委員) この地図を見ているだけでは分かりませんよね。だから、実際に歩いてみたいというのがありますね。

(委員) ヤマダ電機の辺りに住んでいる父兄に聞いたのですが、少しでも近い入間野中の方がいいけど、通学路が不安だと言う人は結構います。とくに冬は暗いですから怖いですよ。車だけではないですからね…。

(委員) そういうケースでは街灯をつけてもらうなど、環境整備をしていただきたいです。そういうことも確認しながらやらないと結論はできませんが、ある程度方向性を出さないと動けないですよ。とりあえず、どういう道を通るかは図面上でもできますので、それが決まったら実際に歩いてみて、危険箇所があれば、それに対する改善策があるのかなのか、なければ道を変えるかとか…。そういうふうやっていくしかないですかね…。

(委員) 通学路の案は教育委員会の方から示していただけるのですか？

(委員) 教育委員会じゃなくて自分たちで作ればいいじゃない。地元の間がが一番よく知っているわけだから…。教育委員会の人じゃわからないでしょ。

(委員) でも、通学路として認めていただけない道とかもあるわけですよ。

(委員) ダメならダメで、また考えればいいじゃないですか。

(事務局) 中学校の通学路は、小学校と違って大きな道を決めるだけです。通学路は、地元の方々の意見を聴きながら決めていきたいと考えています。

(委員) 幹15号なんか危ないですよ。現在、子ども達は裏の道を通っていますが、そういう工夫もありますよね。

(委員) 確かに地元の間は詳しいですけど、検討協議会や部会で決まったことが基になりますので、それだけの責任が出てきますよね。

(委員) あなた達は委員なのだから、あなた達がまとめるのよ。

(事務局) 通学路は一度決めた後でも変更はできます。

(委員) 私は通学路の話をしているのではなくて、例えばヤマダ電機の辺りに住んでいる子どもがどっちに行くかということを決めるにあたって、地元の人だけで決めるのではなく、ここにいる委員さん一人一人が自分の責任の下において…。

(委員) ちょっといいですか、先ほど私が言ったのは、あなた達が決めなさいということではなくて、地元の人が一番よく分かっているでしょうから、それを提案してくださいって申し上げたわけです。だから、みんなでもう一回やりましょうってことですよ。

(委員) 一緒に歩いていただけるとのことですよ。

(委員) 当たり前だよ、責任があるわけだから…。

(委員) 知らない人が見ても始まらないから、まずは地元のよく分かっている人たちが良いと考える道をみんなで歩くという形にしないと進まないでしょ。

(委員) 入間中の通学区域のことは私たちも分かりますけど、山王中の方とかは分かりません。だけど、山王中とかの区域の自治会長さんは委員に入っていないですよ。

(事務局) 委員には入っていませんが、必要に応じて協力を求めていきたいと考えています。

(委員) 自治会の方は依頼すれば協力してくれますよ。通学路は出口さえ分かれば自ずと決まってくるのでしょし、歩いてみて気になった所があれば、その地域の自治会の方にお伺いすればいいじゃないですか。もう中学生なのだから、小学生のように細かくやらなくても大丈夫だと思いますよ。

(委員) でも、女子は夜とか怖いですよ。

- (委員) それを言うなら、自治会にパトロールをお願いするだけでなく、あなた達保護者も出てこないと…。自治会ばかりにやらせるのではなくてね。私たちの自治会でもパトロールはやってはいますが、父兄が出てくるケースは殆どないですよ。
- (委員) 中学生だからこそ心配が増えるという面はあります。
- (委員) そりゃ、親は子どもが何歳になったって心配ですよ。
- (委員) やり方としては、出ている四つの案をすべて歩くのか、それとも、一番ベターと思われる案の一つを選んで歩くのか、そのあたりを協議してほしいのですが…。
- (委員) 例えば、四つの案のうち、これがベターだという案を教育委員会から提示してもらってやっていくというのは如何ですか。
- (委員) 四つの案の中でどれにするかは、入間中の人に選んでもらった方が良いのではないですか。
- (委員) でも、南小の人の方が実際には関わってきますよね。先ほど、入間野中に行ければ、また子ども達が再会できるといった話もありましたし…。
- (委員) 入間中の1年生の子はともかく、2, 3年生は統廃合を経験せずに卒業するわけですから、南小の方に聴いてもらった方がいいと思います。
- (議長) 入間中や南小の方々の意見を尊重するということを踏まえ、四つの案の中でどれが良いか、また、ここはちょっとこういうふうに変えてみても良いのではないかとといったことも含めまして、次回あらためてご検討いただければと思うのですが…。
- (委員) 御狩場小のPTAでは、運営委員会の場で四つの案が提示されている状況などを説明し、運営委員会だよりも掲載をさせていただきました。今後は、四つの案の中でどれが良いと思いますかといった内容のアンケートを保護者にとろうと考えているのですが、如何でしょうか。

(委員) 入間中ではアンケートを取らないでくださいって教育委員会から言われていますし、校長先生からも言われています。

(事務局) アンケートを実施した場合、例えば、入間野中の近くに住んでいる方は入間野中へ行きたい、山王中の近くに住んでいる方は山王中へ行きたいといった結果になるのかなとは思っています。何と言いますか、基本的には自分の立場を第一に考えると思いますので、市全体の将来のことまで考えてというのはなかなか難しいのだらうと思います。ですから、一番支持を集めた案をそのまま採用すればいいとは考えていません。別にアンケートがダメということではないのですが、アンケートを実施したとしても、PTAの代表の委員さんにおかれましては、結果として出てきた数字をそのまま受けて、だからこうですということではなくて、それらの結果を巨視的な視点から十分消化していただき、そのうえで代表としての意見を述べていただきたいということです。

(委員) 御狩場小としても、①案が何人とか②案が何人とか、結果として出てきた数字をそのまま報告して終わりというつもりはありません。結果を吟味したうえで、自分たちとしての意見を述べたいと考えています。

PTA会長としては、保護者の方々がどういった考えを持っているのか、アンケートなどの方法により把握しておく必要があると考えています。やはり、保護者の考えがある程度見えないと、代表としても意見しづらいので…。

(委員) 集計した数字を保護者にバックしたうえで、部会では会長として、こういうふうに報告させていただきますということですね。

(委員) そうですね。

(委員) ただ、御狩場小では出せて、入間中では出せないというのも…。

(議長) でも、それは設問によって違ってきますよね。

(委員) 統廃合のアンケートについては、四つの案に関するものであってもデリケートな問題だから子どもを通して行ってはいけませんと言われました。だから、この学校はいいけど、この学校はダメというのは、

ちょっと違うと思います。だから、アンケートは、教育委員会が統一したものを作って、関係する学校に対して実施してもらうのがいいと思います。

(事務局) 入間川地区の部会でもアンケートの話は出ましたが、どの案にするかは、あくまで部会の協議の中で決めていただき、部会でどの案にするか決まった段階でアンケートは実施したいというお話をさせていただきました。ですから、部会や検討協議会で、この案に決まりましたが、通学路のことなど何か問題はありますかといったような設問になってくると思います。

子どもさんを通じてという形でなければ、アンケートを取っていただいても問題ないとは思っていますが、入曽地区におきましても、この部会の中で、どの案にするかを決めていただき、その後、必要な学校に統一的な形で取らせていただければと考えています。

(事務局) 統廃合に関しては、子どもにプラスになる形で進める責任がありますし、教員の立場から申し上げますと、やはり子どもに不安を与えてしまうということを懸念していますので、子どもを介してというやり方ではなく、保護者会の方でご意見を募るなどといった形でお願いしたいと思っています。もし、アンケートを紙で配る場合には、事前に内容を確認させていただければ、どの学校も公的なものとして実施できると思います。ただ、教育委員会としては、各学校バラバラの内容でアンケートを実施した場合、何かと誤解を招く恐れもありますので、そのあたりを懸念しています。

(議長) アンケートは事務局から統一的な形で出してもらおうということによるしいですかね。

(委員) ということは、四つの案のうち、どれが良いかっていうことを、どの学校も保護者に聴いてくることができなくなっちゃったってことですね。

(委員) いや、子どもを介さなければ、別に出してもかまわないという説明でしたよね。

(委員) 統廃合を考える会でビラを配った時も、廃校になるなんて知らなか

ったという人がほとんどでしたが、統廃合の基本方針では、地域や保護者が納得したうえで進めるということを謳っていますが、やはり、そういった周知などが十分でないと思います。

(委員) 反論するようですけど、そんなの聞いていないとか言う人がよくいますが、そういう人たちは大抵普段からあまり熱心じゃない人たちですよ。

(議長) 情報の周知につきましては、事務局のみならず、委員の皆様方におきましても、あらためてお願いしたいと思います。

(委員) 南小の PTA としては、統廃合に対して賛成も反対もある中、情報を周知するための印刷物は皆さんからいただいている会費を使って行っているということもあり、統廃合の情報をどう伝えていくのかということで時間がかかった面は正直ありました。

7月12日に運営委員会があり、急きょ教育委員会の方にも来ていただき説明をしてもらったのですが、四つの案が出ているということも含めて、ここで初めて、統廃合に関する記事を運営委員会だよりに掲載しました。

教育委員会主催の保護者説明会も実施されることとなり、日時につきましては、皆で話し合った結果、9月14日に決めさせていただきました。

(議長) 次回は、どういうふうに進めますかね。

(委員) やっぱり、どの案でもいいですから、入間野中もしくは山王中へ行くまでのルートを作ってもらって、それを検証した方が一番早いのではないですか。

(委員) 歩くにしても、通学時間に合わせないと意味がないですよ。ただ、部活があったり、なかったりで、子どもによって通学する時間は違いますけど…。

(委員) そのルートの提案は誰がするの？

何人かで組織する諮問委員会とか実行委員会みたいなのを議長さんにつくってもらって、そこからルート案を出してもらうのはどう

ですか。

(事務局) 教育委員会から案を出すことはできますが…。

(議長) そういうことでいいですか。

(委員) 入間中はそれでいいの？教育委員会の色が出るから嫌じゃない？

(委員) やっていただければ、それはそれで助かります。ただ、実際に歩く際をお願いしたいのが、中学生は6キロ、7キロといった重い荷物を持っていますし、スクールバッグが大きいがために、この道は通れないということもあるかもしれませんので、できれば同じように大きな荷物を持った状態で歩いていただきたいと思うのですが…。

(委員) そんなの別に、重たい荷物を持って歩かなくたって常識で判断できますでしょ。

(委員) 中学生の気持ちになっていただきたいってことです。具合が悪い時とか、学校に行きたくないって気持ちの時もありますから…。

(委員) そんなの過保護だよ。

(委員) 俺らの時は、栄養失調の時だって重いもの被って歩いたよ。

(委員) 昔のこと言って悪いけどね、ウチらの時代は、風邪ひいたって何だって学校行けて追い出された時代だから…。

(議長) 事務局からルート案を作るということですが、歩くのは私たち委員ということですよ。

(事務局) そうですね。

ルートは作りますが、実際に歩く時は、個々に歩かれますか、それとも、何人か集まって手分けして歩く形がよろしいですか。

(委員) ある程度グループでやった方がいいでしょ。

(委員) みんなで一緒に歩くこともないですけどね…。

(議長) みんなが全部のルート歩くこともないでしょうしね。

(委員) とりあえずルート案を出してもらって、どう手分けして、誰がどこを歩くかは後で考えればいいのかではないですか。

(委員) やはり私たちが汗をかかないと、本当の意味で提案はできないですよ。

(委員) 本当にそのとおりだと思います。入間中のことは、入曽地区に住む皆さん全員で考えていただきたいと思っていますし、これだけの大人が子ども達のために動いていますよっていうところを見せてあげないといけないし、そうでないと子ども達が可哀そうです。まだ入間中に行きたいって思っている子どもはたくさんいるのに、こんな遠くの学校にまで行かなきゃいけないって言うわけですから、大人が多く時間をかけて真剣に考えたけど、結果としてこうなっちゃって悪かった御免ねって…。そういうふうに統廃合を進めてほしいです。

(事務局) ルート案は次回提示し、8月下旬くらいには歩いていただけるようにしたいと思っています。

(委員) 夏休み中では、小学校の児童さんとすれ違う状況などを把握できませんよ。

(事務局) 学校が始まってからの方がよろしいですか。

(委員) それも大事な視点ですけど、下見的に夏休み中に歩くという形でも大体わかるでしょ。

(委員) 踏切あたりは結構の数の小学生が渡っています。だから、いま中学生は反対側を通っていたりしますので、そういう現状が把握できないと思います。

(委員) やっぱ、学校が始まってからじゃないとダメだね。

(2) その他

(委員) アンケートは教育委員会から出していただけるということですが、入間中 PTA としては部会の協議の内容を保護者に下ろしたいのですが、それは自分たちの判断でやってしまってもかまわないですか。

(事務局) はい。

(議長) 報告ならば、かまわないですよ。

(委員) ホームページに議事録が出ていますしね。
別に、あなたの個人的な意見を出すわけではないですよ？

(委員) はい。議事録がアップされた時点で配るなりしたいと考えています。

(委員) 個人的な意見を加えるとなると、誘導することにもなりますし、問題はあると思いますよ。

(委員) 先ほど紹介した入間中の保護者から出た案は、今後も検討いただけないということですよ。ただ、新築とか全部やったださいというのも確かに難しいとは思いますが、入間小の子は自由選択にしてくださいって意見も中にはあります。

(委員) そういうオプションもとれるかもしれないという説明でしたよね。
ただ、偏ってはいけないですから、全部が全部というわけにはいかないですよ。

(委員) 制服を新しくという意見もありましたが、それもダメですか。

(事務局) 一概にダメというつもりはありません。より良い統合にするために、制服なども今後の検討課題の一つと考えています。

(委員) ただ、卒業間近の 3 年生が新しい制服に変えてって云われても迷惑ですよ。学年の途中で変えるなんていうのは無理でしょ。

(委員) 入間中に入学する時点で、統合先の新しい学校の制服を着るという

形はありえますよね。

(事務局) はい、行く学校と統合の時期が決まれば、そういう形も考えられます。

(議長) 制服など統合に向けた検討課題は他にもあると思いますが、先ほども話がありましたが、あくまでもここは学区について協議する場ですから…。よろしくをお願いします。

(委員) 統合先の学校も、制服などを含めて新しくするという考えはあるということですよ。

(事務局) そういうことも可能性としてはあります。

(議長) コストの問題とかいろいろあるとは思いますが…。

(委員) この先の話し合いでも、そういったことはできますね。

(事務局) はい。そういったことも含めてアンケートの内容は考えていきたいですし、いろいろなご要望があると思いますが、可能な限り応えていきたいと思っています。

(委員) 検討協議会の方は、まだ続いているわけですよ。制服の件も確かに重要ですが、ここは学区について協議する場ですから、それ以外のことに关しては、検討協議会なりの場でご発言いただきたいと思いますので、くれぐれもよろしくお願いします。私たちは学区部会の委員として委嘱されているのですから、学区以外に关することは無責任に発言できないと思いますので…。

(議長) 最後に副会長さんから閉会の言葉をお願いします。

(委員) 今回も時間が長引いてしまいまして申し訳ありませんでした。最後に委員さんが仰っていただいたように、ここは学区部会ですので、あくまでも学区の件に絞って協議を進めるということで、是非ともご理解いただきたいと思います。本日はありがとうございました。

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 第1回会議録
- ◆ 南小学校児童統廃合アンケート調査結果
- ◆ 南小学校保護者統廃合アンケート調査結果
- ◆ 入間野小学校児童統廃合アンケート調査結果
- ◆ 入間野小学校保護者統廃合アンケート調査結果
- ◆ 入曽地区中学校統廃合説明会報告（対象：入間中学校保護者）